



気象庁発表 全国1か月予報

- 北日本では、期間の前半は、寒気が流れ込むため気温がかなり低く、向こう1か月の気温も低いでしょう。また、日本海側では、寒気の影響で向こう1か月の日照時間は少ないでしょう。
- 東日本では、期間のはじめは、寒気が流れ込むため気温がかなり低くなる所があるでしょう。
- 西日本では、大陸からの高気圧に覆われるため、日照時間が多く、降水量は少ないでしょう。

ジョージア国に環境大気測定・気象システムを納入

小 笠原計器は政府開発援助(ODA)により、欧州にあるジョージア国(旧国名グルジア)に環境大気測定・気象観測システムを納入致しました。

本システムは、3地点にモニタリングステーションを設置し、大気(PM2.5、窒素氧化物、二酸化硫黄、大気中のガス等)と風向風速、温度湿度を遠隔測定するシステムとなります。

各ステーションの測定データは現地の携帯通信網を使用し、親局であるデータセンターのサーバーに自動収集することが出来ます。

本システムを導入することで環境汚染状況を常時監視し、生活環境に関わる被害の発生を未然に防ぐことが出来ることから国外でも導入が進められています。

小笠原計器は国内での納入経験から海外へも最新鋭の気象観測システムをご提案しております。



千葉工業大学へパーシベル2を納入

今 年8月、千葉工業大学様が新習志野校舎の屋上に船舶レーダーとパーシベル2を設置しました。

船舶レーダーを垂直に回転させて、上空の雨雲を計測し、隣に設置したパーシベル2で雨の粒径分布を測定して、雨量レーダーの補正に利用します。

この観測は、創造工学部都市環境工学科の小田遼子准教授による研究となります。

<パーシベル2の特徴>

- 最新のレーザーを使って、あらゆるタイプの降水現象を正確に判定
- 降水タイプ、粒径、量および分布の計測
- 1200mm/hまでの降雨強度を正確に測定
- メンテナンスフリーで無人観測も可能

